

# 化学と教育

第59巻 第7号 2011年 目次

- ◆ 化学教育 徒然草  
有機化学の教育 中村 洋介…………… 329
- ◆ 寄稿  
放射線によるさまざまな現象について ―福島第一原子力発電所における事故に鑑みて―  
鷺尾 方…………… 332
- ◆ ヘッドライン：第18回化学教育フォーラム  
「実験を主体とした普及交流活動～様々な立場からの提案～」  
第18回化学教育フォーラム“開催報告”にかえて 若林 文高…………… 338  
SSISS：その狙い・現状・展望 大木 道則…………… 340  
フレンドシップ事業 ワンデーキャンパス・自然ふしぎ体験理科実験教室 鎌田 正裕…………… 346  
教育委員会と連携しよう！ ～授業案を体験型にするチャレンジ～ 古川 和…………… 350  
小中学生のための日立理科クラブ モノづくりの感動と科学のふしぎ発見を教育現場で  
佐藤 一男…………… 354  
小学校5・6年生向け理科・環境学習プログラム 「水のろ過と地球環境」を考える  
―子どもたちの驚きと、真剣なまなざしに触れて― 金森麻理子…………… 358
- ◆ レーダー  
エンブラに感光性を与えて微細パターンを形成する 大山 俊幸…………… 362  
分子手術による内包フラーレン合成 村田靖次郎…………… 364
- ◆ 実験の広場  
実験教室レポートします！  
私の出前授業 「初めての研究：3色の色素の分離」 森川 安理…………… 366
- ◆ 講座：基礎化学品製造の実際と高校での教育実践  
アンモニアソーダ法（ソルベー法）に関連した授業の実際 田村 定義…………… 368  
炭酸ナトリウム製造プロセスの現在 秋山 深平…………… 372

## ヘッドライン企画趣旨

実験を主体とした化学の普及交流活動を行っている、様々な立場の団体やグループの実践をふまえた提案から、その問題点と展望を共有し、今後の普及交流活動のあるべき姿を探りたい。そこで、NPO 法人、大学、企業や企業をリタイヤされた方が活動している団体などがどのような理念に基づき、活動・運営を行っているのか現状を報告していただき、誌面を通じて、活発な意見交換を行いたい。

- ◆ シリーズ：教科書から一歩進んだ身近な製品の化学  
固体電解質：イオンが電気を運ぶ固体 田村 真治, 今中 信人 ..... 376
  
- ◆ シリーズ GSC：低炭素・循環型社会を先導する GSC  
—持続可能な社会を目指す化学技術の過去・現在・未来—  
低炭素社会に貢献する電気自動車の普及とそれを支える Li 二次電池技術 池谷 知彦 ..... 378
  
- ◆ 論壇  
理科の教員を育てる 茅野 俊正 ..... 382
  
- △ 日本化学会から  
日本化学会日より  
日本化学会命名法専門委員会編 「化合物命名法 —IUPAC 勧告に準拠—」の出版に際して  
命名法専門委員会 ..... 384
  
- 会員による平成 24 年～25 年度本会会長最終候補者投票（会長選挙）で玉尾皓平氏最高得票を獲得 ..... 389
  
- 行事一覧 ..... 386

次号予告 59 巻 8 号

ヘッドライン：リラックスの化学～リラックスに関わる物質について～

ヘッドライン	食品とリラックス.....	横越 英彦
	日本の温泉成分の特徴と起源.....	村松 容一
	温泉と植物から生まれた入浴剤.....	石澤 太市, 谷野 伸吾
	自然セラピーとリラックス.....	宮崎 良文, 李 宙堂, 恒次 祐子